



<参考資料>

2010年2月25日

超合金シリーズの最新作は、初のディズニーキャラクター！
「超合金 ファイアボール ドロツセル」
2010年2月27日(土)発売

ディズニー・ジャパン制作のCGアニメーション「ファイアボール」のキャラクター
「ドロツセル」を超合金で商品化！

株式会社 バンダイ

本社:東京都台東区駒形1-4-8

社長:上野和典、資本金:246億円

株式会社バンダイは、ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社のCGアニメーション「ファイアボール」(ディズニー・チャンネルにて放映中)に登場するキャラクターを商品化した「超合金 ファイアボール ドロツセル」(8,400円/税込)を2月27日(土)に発売します。

ダイキャスト(亜鉛合金)をメイン素材としたロボット玩具シリーズ「超合金」は、1974年の「超合金 マジンガーZ」(1,300円・税別)の発売以来、ロボットアニメのキャラクターを中心に商品化し、人気のフィギュアブランドとしてご好評いただいています。

今回、ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社が制作するCGアニメーション「ファイアボール」に登場するロボットのヒロイン、「ドロツセル」を超合金で商品化しました。ディズニーのキャラクターの商品化は、35年以上の歴史を誇る超合金シリーズにおいて、初めてのことです。

主なターゲットは20~30代の男性で、全国の模型店、玩具店、家電・量販店の模型・玩具売場、インターネット通販などで販売します。



「超合金 ファイアボール ドロツセル」(8,400円/税込)

©Disney

「超合金 ファイアボール ドロツセル」の魅力

①アニメーションそのままのポーズが楽しめる！

「ファイアボール」のドロツセルの魅力の一つは、その多彩なポーズにあります。腕や足の黒い関節パーツ、アニメーションで使用されたCGモデルをベースに、CGそのままの構造で、実際の超合金の可動部分として機能するよう設計されました。また、腕と脚部には全面的に超合金(亜鉛合金)を使用しており、その重量感は台座なしでも、アニメーションそのままの多彩なポーズを可能にします。



②瞳の発光ギミックや、オプションパーツも満載！

アニメーション同様の瞳の発光ギミックを再現するために、青色LEDを採用し、外観を損ねないように、スイッチ部分は頭部内に搭載しています。

また、アニメーション内でドロツセルが飛行時に装着する「オブ

ルシェフ」や格闘時の「ベリンダ」などのユニットや、全10種類の手首パーツも付属しており、劇中のさまざまなシーンが再現できます。



写真左「オブルシェフ」装着時／写真右「ベリンダ」装着時

③こだわりのパッケージ

ウインドウパッケージのウインドウ部からは、執事のゲデヒトニスが見ているデザインになっています。また、箱の内側にはメッセージが記されており、開封して初めてわかるお楽しみが隠されています。



■「ファイアボール」とは

ウォルト・ディズニー・ジャパン制作によるCGアニメーション作品。貴族のお嬢様ロボット「ドロッセル」と執事の「ゲデヒトニス」が、二人が住むお屋敷の大広間で繰り広げる、おかしな会話のやりとり。話が進むにつれて次第に明らかになってくるお屋敷の外の様子や、人間との戦争、そして「ファイアボール」の意味とは…。1本約2分、全13話の短編コメディながら、不思議と何度も繰り返し見たくなる作品です。現在もディズニー・チャンネルなどで放送中。

番組サイト：www.fireball.tv



■ヒロイン、「ドロッセル」とは

フリーゲル家19代目当主。亡き父の遺志を継ぎ、ウラノス国テンペスト領を統治するハイペリオン(貴族)。人間の年齢に換算すると14歳程度の処理能力を持っています。その流れるような優美なフォルムとは裏腹に、貴族らしく喋ろうとするもののたどたどしく、結果として非常に奇妙な印象を与えてしまうというキャラクターです。

<商品概要>

- 商品名 : 「超合金 ファイアボール ドロッセル」
- 発売日 : 2010年2月27日(土)
- 価格 : 8,400円(税込)
- 高さ : 約180mm
- 重さ : 約270g
- 素材 : ABS・ダイキャスト・PVC製 塗装済み完成品
- セット内容: ドロッセル本体、交換頭部 飛行ユニット「オブルチェフ」、飛行形態用パーツ、交換頭部 格闘ユニット「ベリンダ」、交換手首(計10個)、ディスプレイスタンド



「魂ウェブ」URL : <http://www.tamashii.jp/>

バンダイ ホームページURL : <http://www.bandai.co.jp>